

リベラル西条

代表質問

現状と今後の取組は？

西条農業革新都市

問

本市では、総合6次産業の確立を目指し、西条農業革新都市プロジェクトに取り組んでいるが、プロジェクトの現状と今後の取組について問う。

答

本市は、西条農業革新都市を実現するため、住友化学株式会社を中心とした関係企業や研究機関との連携の下、サンライズファーム



整備予定のサンライズ西条加工センター(西ひうち)

問

学校教育法に位置付けられている特別支援教育について、本市の現状と学校の体制整備について問う。

答

市内小・中学校の現状は、平成25年5月1日現在で特別支援学級担任教員が85名、通級指導教室担任教員が5名、市の特別支援教育

西条による大規模農業経営モデルの構築や、鮮度保持などの各種共同研究の推進に加え、地域農産物の流通について研究し、加工流通システムの構築に向けて取り組んできた。

今後も関係企業などと強固な連携体制を維持し、地域の経済効果を高めていくとともに、地域農業関係者と農産物加工会社がビジネスパートナーとして良好な関係を構築できるように支援し、また、地域農業の担い手育成にも積極的に取り組んでいきたい。

一般質問

現状と体制整備は？

特別支援教育

支援員が42名であり、特別支援学級は、小学校62学級、中学校23学級が設置されている。

また、学校の体制整備については、校内委員会を設置し、指導方法や就学などについて話し合い、特別な支援を要する児童・生徒への理解を深めることにより、全校体制で指導・支援に取り組むことができている。

ファシリティ・

マネジメントの導入を！

問

公共施設を中長期的な視点からコスト感覚を持つて管理するため、ファシリティ・マネジメントを導入する考えはないか。

答

本市が保有する施設の多くは老朽化しており、今後、維持管理経費などの増大が想定される。現在の財政状況から見て、計画的な改修による施設の長寿命化や既存施設の用途変更などによる有効活用が必要であると認識しており、さまざまな施設の管理手法について、部局を超えて横断的に検討していきたい。

西条市民クラブ

代表質問

少年非行の

現状と対策は？

問

本市の平成25年中の刑法犯認知件数は、前年と比べ西条署管内で92件増加、西条西署管内では7件減少しているが、少年非行の現状と対策について問う。

答

市内小・中学校の児童・生徒における平成25年中の検挙・補導件数は、万引きなどの刑法犯で36名、深夜徘徊などで65名であった。

各学校では、全職員が生活指導を行い、少年非行の防止に努めており、非行事案が発生した場合には、保護者などとの連携の下、速やかな解決と再発防止に努めている。

また、地域では、児童・生徒を守り育てる協議会や西条市青少年健全育成協議会など

との連携により、非行防止活動を推進している。

教育委員会としては、学校や警察、各種協議会との連携を更に密にし、情報を共有しながら、本市の青少年の非行防止をはじめとする健全育成に取り組んでいきたい。

一般質問

どう考える？

都市間交流

問

本市の都市間交流の状況及び新たな友好・姉妹都市の方向性について問う。

答

本市は、現在、中国保定市と友好都市協定を締結している。友好・姉妹都市締結のためには、人的な交流が行われ、双方が認め合える関係へ発展することが必要であり、例えば千の風になっているのまちづくりで連携している新潟市や北海道七飯町など、今後、更に取組が発展し、機運が高まることにより、友好・姉妹都市締結へと発展する可能性はあると考えている。